



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日
東

上場会社名 株式会社カイテクノロジー 上場取引所
コード番号 5581 URL <https://chitech.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)勝屋 嘉恭
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)田熊 眞司 (TEL)03(6273)0408
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	1,029	—	50	—	52	—	31	—
2024年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益2025年8月期第1四半期 31百万円(—) 2024年8月期第1四半期 1百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	7.55	—
2024年8月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2024年8月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は売買実績がなく期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	2,303	637	27.7
2024年8月期	2,326	612	26.3

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 637百万円 2024年8月期 612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,442	—	52	—	61	—	39	—	9.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年8月期においては、貸借対照表のみを連結しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 — 社(社名)— 、除外 — 社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期1Q	4,200,000株	2024年8月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	—株	2024年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期1Q	4,200,000株	2024年8月期1Q	4,200,000株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績及び雇用情勢の改善等に伴い、緩やかな回復の動きが見られました。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ侵攻をはじめとする国際的緊張や世界的な物価の上昇、海外における政治的不安定要因の増大等により、日本経済の見通しは不透明となっております。

経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2024年10月分確報」によると、情報サービス業の売上高は1,317,832百万円（前年同月比9.2%増）、うち受注ソフトウェアの売上高は762,588百万円（前年同期比11.4%増）で、順調に推移しております。

企業や行政などにおけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）領域への投資は引き続き積極的であり、当社グループはこの潮流を成長の機会と捉え、「プラスαで快適（カイテク）な明日へ」というコーポレートミッションを掲げ、「利益向上」、「人材開発」、「市場競争力」の3つの経営課題に対し、「社員採用強化」、「教育環境整備」、「業務高度化」の3つを重点施策として事業を推進しております。

「社員採用強化」については、新規大学卒、第二新卒、若手即戦力の採用に注力し、中期的にバランスのとれた社員年齢構成の形成を図るとともに、外国籍技術者、女性活躍推進をはじめとするダイバーシティ採用を積極的に取り入れていく計画です。

「教育環境整備」については、2024年8月に、社内教育のための組織としてカイテクラボ&教育センター（通称CLLC）を設置し、定期的なセミナーの開催やハンズオンラボを実施しております。

「業務高度化」については、ITアーキテクト、ITコンサルタントの業務を中心に育成・拡大を図るとともに、受託開発サービスにおいてはSI業務の対応可能領域の拡張と体制整備を進める計画です。

パッケージ販売サービスにおける「業務高度化」についても、食（FoodTech）と健康（HealthTech）のDX化を積極的に推進し、AIなどの先端技術を採用することで、お客様の一層の利便性や生産性向上を図っていきます。

このような状況下において、当社グループの当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高1,029,986千円、営業利益50,611千円、経常利益52,322千円、親会社株主に帰属する四半期純利益31,701千円となりました。

当社グループはIT関連サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりませんがサービス別の概況は、次のとおりであります。

システム開発サービス（SES・人材派遣）においては、案件獲得が順調に進んだことにより、売上高694,367千円となりました。

受託開発サービスにおいては、受託案件のシステム開発が概ね計画通り進捗したことから、売上高は175,551千円となりました。

パッケージ販売サービスにおいては、インストール版の販売が伸び悩んだものの、Web版導入が進んだことから、売上高は160,067千円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,761,777千円となり、前連結会計年度末に比べ売掛金が58,471千円減少いたしました。また、契約資産が42,538千円増加、仕掛品が10,542千円増加した結果、流動資産は1,777千円増加となりました。また、当第1四半期連結会計期間末における固定資産は541,430千円となり、前連結会計年度末に比べのれんが6,846千円減少、繰延税金資産が12,625千円減少した結果、固定資産は25,475千円減少いたしました。この結果、総資産は23,698千円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は846,874千円となり、前連結会計年度末に比べ預り金が11,765千円減少、賞与引当金が50,436千円増加した結果、流動負債は38,914千円増加となりました。また、当第1四半期連結会計期間末における固定負債は818,827千円となり、前連結会計年度末に比べ社債が66,500千円減少、長期借入金が29,934千円減少した結果、固定負債は88,021千円減少いたしました。この結果、負債合計は49,106千円減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は637,506千円となり、前連結会計年度末に比べ25,408千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,274	1,183,225
受取手形	132	1,499
売掛金	461,566	403,094
契約資産	29,613	72,152
商品及び製品	15,245	14,598
仕掛品	14,659	25,201
前渡金	19,976	28,813
前払費用	27,810	28,309
その他	12,146	5,305
貸倒引当金	△425	△423
流動資産合計	1,760,000	1,761,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,243	93,243
減価償却累計額	△34,820	△37,144
建物及び構築物(純額)	58,422	56,098
工具、器具及び備品	31,764	32,582
減価償却累計額	△19,363	△20,243
工具、器具及び備品(純額)	12,400	12,338
有形固定資産合計	70,823	68,437
無形固定資産		
のれん	191,692	184,846
ソフトウェア	16,532	15,404
顧客関連資産	148,000	145,687
その他	973	973
無形固定資産合計	357,198	346,911
投資その他の資産		
繰延税金資産	61,568	48,943
その他	77,315	77,138
投資その他の資産合計	138,884	126,081
固定資産合計	566,906	541,430
資産合計	2,326,906	2,303,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,363	125,793
契約負債	83,763	86,220
1年以内償還予定の社債	153,000	153,000
1年以内返済予定の長期借入金	149,753	139,754
未払金	36,454	28,625
未払費用	84,557	80,500
未払法人税等	515	151
未払消費税等	43,789	56,561
預り金	40,540	28,774
賞与引当金	96,702	147,139
受注損失引当金	1,521	354
流動負債合計	807,960	846,874
固定負債		
社債	356,000	289,500
長期借入金	439,828	409,894
退職給付に係る負債	30,832	31,530
資産除去債務	50,646	50,651
繰延税金負債	9,520	17,364
その他	20,021	19,887
固定負債合計	906,848	818,827
負債合計	1,714,808	1,665,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,200	28,200
資本剰余金	132,772	132,772
利益剰余金	451,125	476,527
株主資本合計	612,098	637,500
その他包括利益累計金額		
その他有価証券評価差額金	—	6
その他の包括利益累計額合計	—	6
純資産合計	612,098	637,506
負債純資産合計	2,326,906	2,303,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

	(単位：千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	1,029,986
売上原価	735,835
売上総利益	294,150
販売費及び一般管理費	243,539
営業利益	50,611
営業外収益	
受取利息	33
助成金収入	4,257
雑収入	180
営業外収益合計	4,471
営業外費用	
支払利息	1,958
社債利息	801
営業外費用合計	2,759
経常利益	52,322
税金等調整前四半期純利益	52,322
法人税、住民税及び事業税	153
法人税等調整額	20,467
法人税等合計	20,620
四半期純利益	31,701
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,701

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	31,701
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6
その他の包括利益合計	6
四半期包括利益	31,708
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	31,708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準という。))等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであり、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は次の通りであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	6,844千円
のれんの償却額	6,846千円